



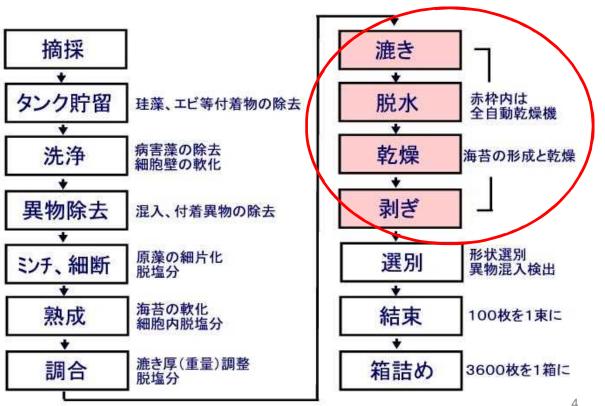


2021年12月28日撮影 明石ノリができるまで 加工作業 (兵庫県明石市)

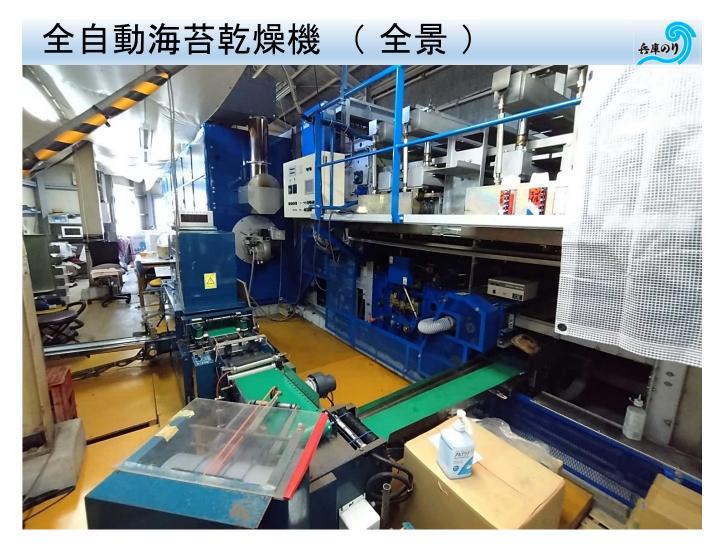


乾のり加工の流れ

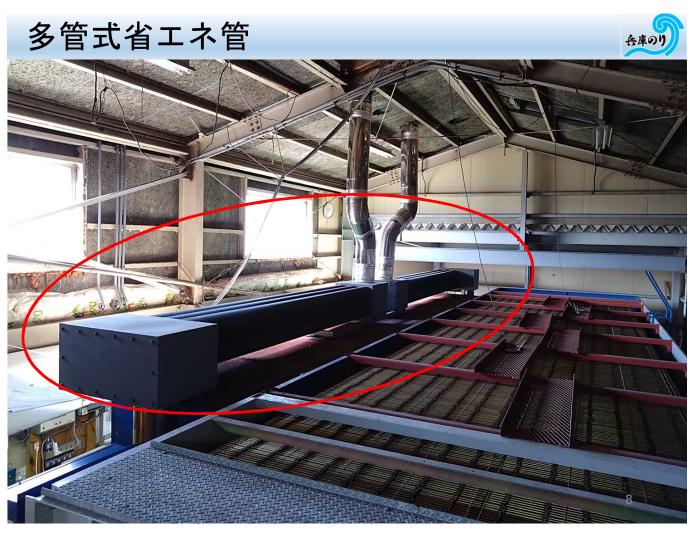












多管式省エネ管









多管方式の排気構造により空気接触面積 が大きいので室内空気への排気熱回収が 大変効率的に行われる

送風ファンに吸引される循環空気の通り 道となる送風ファン上部に設置するので 新たな設置スペースが要らない



(下図規格の場合)

法: L×W×H = 3,490 mm×500 mm×400 mm

小管の数: (4×d=2,440 mm×90 φ)×8本 装置重量:小管 16Kg/m×2.44m×8 本与312Kg : 継ぎ手ボックス 前 (入口) 25Kg

: 継ぎ手ボックス 前 (入口) 25Kg 継ぎ手ボックス 後 (出口) 25Kg



お問営わせ先

株式会社ニチモウワンマン

〒750-1186 山口県下脚市小月小島二丁目 3-17

TEL 083-281-3885 FAX 083-282-0480

多管エロフィン式

排気熱回収装置



株式会社ニチモウワンマン

PAT.P O

多管式省エネ管

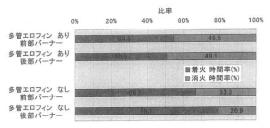




- 1. 排熱の回収利用が向上
 - (排気熱温度が下がり熱利用効率 UP)
- 2. 乾燥熱風の温度起伏減少
 - (乾燥室内の室温安定)
- 3. バーナー燃焼時間減少
 - (燃油削減)
- 4. 乾燥温度の低温化

(乾ノリ製品の品質向上)

バーナーの着火時間は、多管エロフィン式排気熱回収装置を設置することによって18~36%の短縮が見込め、大幅な燃油コスト削減が期待できる。

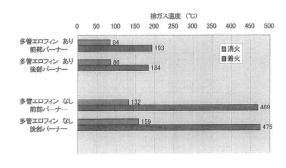


(注) 全自動乾海苔製造装置ワンマンNH-6型による比較実験より

多管エロフィン式排気熱回収装置を通過した 直後の排気熱温度は設置なしよりも約 60% 降下しており、多大な熱エネルギーが室内循 環空気に熱交換回収されたことを表してい る。



多管エロフィン式排気熱回収装置通過 直後の排気温度計測



重油 1 Qあたりの乾ノリ生産枚数に換算すると約 60%の生産枚数増となり、 燃油コストの大幅な節減効果が期待される。



明石のり江井ヶ島嶋美人



